

JCMA 報告

情報化施工研修会をスタート！

施工部会 情報化施工委員会

国土交通省が開催する『情報化施工推進会議』から「情報化施工推進戦略」が発表（7月末）されました。その中では、情報化施工の普及のための重点課題のひとつに「人材育成」が挙げられています。（社）日本建設機械化協会は、情報化施工に関わる人材を育成するため、「情報化施工研修会」を7月に第1回、8月に第2回を開催致し、今後も、1～2ヶ月に1回の頻度で開催予定であり、逐次ご案内致します。

JCMA

目的
3次元データを利用した建設機械制御に関する基本的な教育を実施し、実践的な活用（制御データの作成、マシンコントロール（MC）、ICT施工管理）が出来る技術者を育成します。

研修目標
現場施工での活用
↑
各施工段階の技術を習得
「情報化施工研修会」

現況データ



測量データの活用方法を習得
起工測量

設計データ



設計図面のMC用データ作成方法を習得
施工図作成

制御データ



MC施工の基本を習得（フル、グレーダ）
施工

出来形データ



設計データを活用した出来形管理手法を習得
出来形計測

研修内容

コース名	研修概要	主な研修内容	備考
体験コース （1日間） 定員：20名	<ul style="list-style-type: none"> MCを用いた施工概要の把握（システム構成、運用） MC用データを使用した 実機施工の試乗体験 	<ul style="list-style-type: none"> 情報化施工の動向 マシンコントロール(MC)とは MC用データ作成の概要 MC体験 	
実務コース （2日間） 定員：20名	<ul style="list-style-type: none"> MC用データ作成からMC施工に至る一連の流れを実習 設計データを搭載したTSを用いた測量データの活用方法、出来形管理を実習 	<ul style="list-style-type: none"> MC用データ作成の流れ 測量基礎とデータ利用 MC用データ作成 MCのハード設定 MC施工実習 	<ul style="list-style-type: none"> 研修用パソコン、データ作成ソフトが利用可能（一人一台） 「研修修了証」を発行

実習ヤード





実習ヤード概要

場所：静岡県富士市（施工総構内）

延長：約110m（コース1）
約98m（コース2）

幅員：6m

横断勾配：1.5%～5.0%

縦断勾配：1.0%～2.0%

研修会の詳細、お問い合わせは、下記ホームページにアクセス
 社団法人 日本建設機械化協会 <http://www.jcmanet.or.jp/>
 〃 施工技術総合研究所 <http://www.cmi.or.jp/>

